



2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2341回 2019年7月27日(土) No. 2224

本日のプログラム Today's Program 担当者:親睦活動各委員会

点 鐘 18:00 夜間例会 於:セルジョ

前回 第2340回 2019年7月19日(金) 記 録

- 斉 唱:「日も風も星も」
- 出席者:会員 21 名中 17 名出席 出席率 80.95%
- ゲスト:有限会社プラシオ 代表取締役

田中 祐子様

会長あいさつ 加藤 清久



本日は、ロータリーが素晴らしいところだということについてお話しします。私の生きた履歴は、25 才まで学びの時代、15~30 才まではサラリーマン時代、30~65 才までは会社

の経営者時代、65 才以降は毎日が日曜日です。この間、良いこと悪いことさなざまな事件に遭遇しましたが、その殆どは「経営者時代」にありました。

事業を初めて 13 年目の 43 才、胃がんの診断を受けて手術、お医者さんのお世話に。

20 年目の経営方針の対立から経営権争い、弁護士さんにお世話に。

30 年目の詐欺事件、これも弁護士さんにお世話に。

35 年目に迎えた会社の経営危機による希望退職募集と自身の引退、これも弁護士さんのお世話に。

経営者時代、全時代を通して孤独であり相談する人がいなかったこと。

何の知識も相談する人もなく、「ゆきあたりばったり」で、我武者羅に挑戦してきた人生、つくづくよく頑張ってきたと思っています。

それが、もし、私が、若くしてロータリーに入会していれば、この事件等ロータリーのメンバーに相談、適切なアドバイスをいただいて解決し金銭的にも精神的にも莫大な利益がいただけたと思っています。

何故なら、我がクラブには、その人材が揃っているからです。

人に取って、お医者さん、弁護士さん、良き友を持つことは人生を生きる必須の条件ですが、それが、ロータリーに入会していれば何の努力もしないでいただけるのです。

若いロータリアンの皆さん、これって、ありえませんか、「ロータリアンのメリット」は、ここにあると断言しても過言ではありません、ロータリーってすごいでしょ。

幹事報告

・7/17(水)瀬戸 RC 表敬訪問 出席

次回の例会:7/27(土)※7/26(金)振替分 夜間例会

於セルジョ 17:30 受付 18:00 点鐘

	8月2日(金)	8月9日(金)	8月16日(金)	8月23日(金)
例 会 予 定	卓話担当者:各委員長 卓話者: 〃 演題:「各委員会事業説明」	卓話担当者:松永 洋子君 卓話者:NPO 法人 「やきもの文化・瀬戸洞町」 理事長 細井 透様 演題:「あなたの会社には チームワークがあ りますか」	休会 (定款による)	ガバナー補佐訪問 卓話担当者:山田 直樹 ガバナー補佐 卓話者: 〃 演題:「ガバナー補佐訪問 に因んで」

ニコボックス

- 先般市長にあいさつに行って参りました。時間をとってロータリーに来られます。皆さまによろしくとのことでした。加藤 清久君
- 風邪がはやっています。お互い気をつけましよう。加藤 清久君
- 田中祐子さん、ようこそ。楽しんで下さい。少々卓話もさせていただきます。どうぞよろしく。森井 晴生君
- ゲストの田中祐子さん、ようこそ。歓迎いたします。飯田 幸雄君、金森 俊輔君、菊田 利昭君、桜井 雅博君、谷口 亜弥君、西尾 輝久君、森 康美君、山田 直樹君
- 申し訳ありませんが、早退させていただきます。舟橋 龍秀君

卓話



「各委員長事業説明」
 青少年奉仕委員長
 菊田 利昭
 2019-20年度 方針
 未来を担う若い世代に対する支援をすることで、尾張旭市を子育てのしやすい街にする

一助としたい。

自主事業

- ①尾張旭市内の小規模保育園への備品等贈呈
- ②尾張旭市立図書館への絵本等の贈呈
- ③県立旭野高等学校へワイヤーロックキーの贈呈

協賛事業

- ④市子ども連絡協議会主催 ミニスポーツ大会
- ⑤市商工会主催 珠算大会
- ⑥市地域活動連絡協議会主催 なわとび大会
- ⑦サッカー協会主催 サッカー大会 (未定)

演奏会等への協賛

- ⑧県立旭野高等学校音楽部OB会 演奏会
- ⑨市立西中学校吹奏楽部活動支援
- ⑩尾張旭児童合唱団 コンサート
- ⑪尾張旭吹奏楽団 コンサート



「各委員会事業説明」
 プログラム委員長
 松永 洋子
 2019-20年度 方針
 楽しく意義のある例会になるよう努めます。

- ・会員全体がより良いコミュニケーションが取れるような運営を目指します。
- ・昨年度より始まった「セミナー例会」を継続し、市民の方々にロータリークラブ活動を身近に感じてもらおう。



「各委員長事業説明」
 親睦活動委員長
 金森 俊輔

2019-20年度 方針
 ・会員間の親睦を深めることにより、クラブの活動を円滑にすると共に、

- ロータリーライフをより豊かにする。
 - ・新入会員がクラブに早く溶け込めるよう、イベントを計画する。また、会員家族との連携を深める。
- | | | |
|--------|-------------|-------|
| 7月27日 | 移動例会 (夜間) | 26日振替 |
| 9月28日 | 月見例会 | 27日振替 |
| 12月21日 | 年忘れ家族会 | 20日振替 |
| 3月28日 | 伊那RC交流例会 | 27日振替 |
| 5月10日 | 春の家族会 | 8日振替 |
| 6月13日 | 最終移動例会 (夜間) | 12日振替 |

毎月第一例会日：誕生日・結婚記念日のお祝い



「SDGsとは」
 ロータリー情報委員長
 森井 晴生

SDGs (持続可能な開発目標) とは、“2030年までに達成すべき17の目標”

「169のターゲット」は目標をより具体的にしたもの!



日本でSDGsが注目される前から、世界ではそれに先駆けた動きがありました。きっかけは2006年、当時の国連事務総長であるアナン氏が金融業界に向け、責任投資原則 (PRI) を提唱したことです。

SDGsは、普遍的な目標として「誰も置き去りにしない」という約束を掲げています。先進国と途上国、そして企業と私たち個人がともに手をとって目標達成のため

に努力をしていかないことには、貧困の解消や格差の是正といった深刻な問題は解決できません。

私たち一人ひとりにも、できることは数多くあります。2030年の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、SDGsを特別なものとしてではなく、「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切です。